腹を割つて協議

チ軍の撤收を要求。臘

隊伍堂々國境パツサウを越ゆ

ツ東陸第一先龍和後はいよく十一越へ降伍堂々ズデーテン地方に進

フランス政府 施行しその所属を決定するとと、 が被域に於ては人民投票を

臨時議會召集

大野政将連維は去る計四日から忠一て監行の天谷秘書官、井原文書記

投む僧同無部闘城したが、今回で

見違へるほど發展

お役に立ちます

メン ソレータムヴ

こんな時すぐに

國府の面目丸潰れ

四相會議で决定の

對支院官制案(要)

| 1. 「東京 本語は「これた対文解製制 | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな大きな | 1. 「大きな大きな | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな大名美女優 | 1. 「大きな大名 | 1. 「大きな大きな | 1. 「大きな | 1. 「

高永謙太郎給 海音寺潮 五郎 作

どうして、この人造が一緒に集一たが、まだ反抗をやめようとしな

打傷、

切傷

馴れぬ勤めの お出になつて 勤労奉仕に

すり傷毒虫など

樂庭家さ界世

四二十五数

一個八十錢

節か外産肌

け疾痛痛

あ

.2.

関を見るものと強烈されば自され段落と共に省地官派では爪大新展

平、安東治報關此是松山宗作氏一段山口第二、攜與京提此是郡田利

滿洲日日河南北共村田俗縣、湖畔

三十日夜入城全滿記者聯盟一行

への進軍は一日午前零時を期して行ふ旨を宣言した。 選時軍總司令部ラウヒッチユ將軍はミユンヘン協定の結果獨進軍の占領を認められた地域、選時軍總司令部ラウヒッチユ將軍はミユンヘン協定の結果獨進軍の占領を認められた、なほ獨 [ベルリン三十日發本社特置]ミユンヘン協定に基き設置された第一回國際委員會は二十

陸幹を中心に金山道路が集中 物語いものになった。半白の髪け

損失をよりかぶりながら、兵衛

連載を見よ。 連載を見よ。 天地支黄

放政記念日式典(頭野器宮にて独行

恐性の皮膚疾患から



陣中の必需品です 慰問袋に一 を護



日本メンソレータ公本舗

大陸交通史に輝く

感する釜田袋北須行園」(眼下にエンチンの観音と状態に、「利用に字前七時寸分北須接益山樓、日頭女三園を結ん「登私に燃えたがる園園のはためる」入時十五分釜田袋単北京袋上り第間町の笠のダイヤを削。楽客を満続対仮記記日に添削たる」を乗せ日頭女三園駅を襲して午町側に向って飛び出した。日前早く上前具札止めの第一殿の「大列車に数学と遮臓の頭奏行架等師に向って飛び出した。

等一十六回朝鮮栗母食過百十一

久を新順、悪信報國の記願を新

~1、更に國民防進額に数「國する教報用し、ために「組合は「加工に投して」るので、京漢不町に呼びかけて國防教語法。 ていたが、昨年支納事題と共に歸した遠立郷と協議、其安漢書の大綱に陳詩凱教会と開催、 便 原立 紅龍、真好立成職を暴げ」は正しい時尚裁議の下に一時國國「獨時司總職を深める法」

京城府内の韓僑国に数三崩から納」自然消滅の形と、

納稅組合再組織

城黄金町原之内近沿の少学



の銃後女性が

タンドを埋めた各校施技派に基立「北西螺の雄々しい選子真常文の朋辞が成功され、選手をはじめる「九十二名を代表して、瀬明高女金

ける女子庭球大會(蓋)

織男士の武理女人と題先者の英一ら特に来出した連原不府根押司女

性冠は果して何れ

咸興にて李元崇特派一家後別がサ、週本北部時事時

第二人 し給油の其少額の後丁一時四一初 のメダモーデを贈り、郵便物を下

法帝戦引分け

67735972841 相伊村勒山吉竹田護宗 2841

本川及村武谷介田中野

四秒七(忌田、雕松、嗣田、

第二五回录从乃體育日

IIL.

〜川の瀬町 (×田)

刑朝鮮は未だこの無別にありますが良く晴れて居るの一日朝の概況 高気脈の移動早く今朝は東北

銃役の進軍譜!

防器マスク競走

の健康譜

各種の運動で大賑ひ

相撲大會も開展

の味

戒後の朝鮮映畵の會…───────

朝鮮總督府文書課

三日は定休日

實用品特賣市智給



謹告候也 脱跡城致し従前連 附二於テ郡養中ノ 塩まさる熱唱ノ

岭門 愿科

南·安姆经园特用具

图字22可含面积 图式五十字2

植血吸肚斑 夢茸トニク

即有些人类

に工夫を凝せる……

在來棉に比し八割の增収ぶり

六十町がに釣し之が栽培を行った地間指導値を設置すると共に 町歩栽培することになった品雑告を開催、産来改良、奢作改良労産 平南でいより

食に非郷食定数量を興度でその強(には時内の使自動車が整丁産業集しむることとし本華は数に各境無(物質毎に発山第)機構の正可製場即日までに亜脳場所に近回出荷せ)(統山)朝夕の二回開意巡接船の

天に發覺を恐いて 無智な妻噓の申告

は無難許にも拘けらず古物所を要し無難を出って、「静山」沃勝郡碧川東越永郷。」)

泗川の籾共販

邑面長打合會

優良店員表彰

・冊日朝大港の興安丸で参山へ送り赤くなって寛朝を地にやったがの道知で留守中の家人は背なった

の際北野九〇線が南品種物所館 2 1年の一1廿八日午前十時頃翠轉 1年の一1廿八日午前十時頃翠轉

(大部) 将内組山町小場段六年生鳥居曜市若二先般会岡連薭聯盟主 萬丈の氣備

榮譽の特選賞

面自かった、船の師仮お、書談談に記述日を調べて早前人陸では小文もやん姓が謀由「馬山」府には承立丁三日戊申翻「火気やんは居なかった」「馬山」府には承立丁三日戊申翻

詔書次發記念式

僅か四ツの子供玄海を渡る

|発展でもので周節の人々を置し行む苦||一年から場面標底路内で起去式を異

損害の指はよる廿五日中を買って新統州」平北江川郡家山面田林

又惡いことをしました。

謎の自首男警察で犯行の苦心談 任技能に既経官を組した 江府尹、四川商議江山、在門野山、

て研修州器に引数、取調べ

関係の著せ輸名するの上、海陸運 「大叫」 教物和会とはすべ日教物

脚踏員後を開き更に午後一時から 【金山】那米数氏側組合では去る 金海米統總會

轄部成之道 (和情)

海(羅門)

ひょつこり海州へ

語る十年の懷言談

りきたがらあれを含、これを食

度川芎軒八思於丽寒 町 年]



フルート協奏曲ー

戦線子守唄(元行歌) 鶴田六郎 中山。西峰 [] A

の態技とひ笑 /る來陣高級 ★奇 術・曲 技 ※二 人 漫 談 ☆歌 含音 樂 謠 漫 ミス 若 葉 松旭衛 佐藤侑 きみのまんどほど

十九日子別九時から同校で海縄哲士十二名の轄九の第九回籍了式は -人も妾を持つ

多次の独目をうけてゐる元(何人が領兮頭の候柳として起つか(ってこゝに三隅、小林の開遊によっては称が絶る対象如何(の最大問題と化し組つて一般から)を排す一部の趣きは概次指徴となり。自然神が絶る対立的「聊を迎へた元山商議にとって復国(そらつて機柳が構造したが小井氏)

風を呼ぶ元山商議會頭選舉

旅客を手占摺らす

に執言を叱き多数旅客に製団され

山野では日下党行方法を教授中党がこの原連領手収録を観察的に 開発党権が大佐に向って首語出版市内見時の後新歌へ向った問題の 【爾南油】我開支保証英念奉大三

日出之高校 金 四 青

力殺菌剤がピール・カルウス

からル配合

M

村恒美盘品伯鶴演

ルモン配合のクラブ美なクリーム、クラブ臨院での他クラーム、クラブ臨院での他クラーを以上不能しばスターを掲げた駅前にでる質上けの方に即時週れなく招待を変差上けます。 では、右照住所に必ずお買上けクラブ化粧品の外両を受けます。 では、右照住所に必ずお買上けクラブ化粧品の外両を受けます。

日本は、「中心の公益」というでは、「日本の教育に関する。」という、「日本の教育に「地方の人」という、「日本の教育に「地方の人」という、「日本の人」という、「日本の人」という、「日本の人」という、「日本の人」という、「日本の人」という、「日本の人」という。「日本の人」」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」という。「日本の人」」「日本の人」」という。「日本の人」という。「日本の人」」「日本の人」」という。「日本の人」」は、「日本の人」」は、「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」という。「日本の人」」「日本の人」」という。「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」」「日本の人」」という、「日本の人」」という、「日本の人」」」「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」という、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」は、「日本の人」」」

|野説州||七人の姿をもつ推聴の||頂の飲食店館には七人の姿を願ひ

界『旦那様、この万頃で、およし

等『さて希切、初七日が遊んだか初七日が遊んだか

さした 愛唱曲アルバム(産業) ↑ ・ 第二級額約系築 - 九月末日限

殖銀輝く記念式響行 今日 玆に二十周年を迎ぶ

大目標に邁進す

局産業經濟開發の

林式公社債贖

杯殖銀頭取の式

| 12(-ch8) (11) | 12(-ch8) (

日本高周波重工業

5

利

原

《源山本源作商店 京城府明治町

歩の妙味があるとしたが限ごこかの対象があるとしたが限ごこの十二回せどんな影響を辿るであらった。 「国有この下輪を向したままやったいがこの十二回は中国と発えないがこの十二回は中国と発える。

本代之十二級 ・ 選手の可能を ・ できる。 ・ で。

解決と云ふ事になったの 着状と云ふ事になったの るヤレーへと云ふ氣分か な付きは聴りしてゐる休 ながは沈む日に各独行会 は始設記念日に各独行会 であったのために氣 解散であっために刻

米期 順鞘 新甫は

今の内に思ひ切つて靴く方が限で双方は最後まで頑張ると て見ると側層は光物よりこの常れるだらうと云ふ事であつ▲して致り削すのは昨年逸りより埋

操合に終る

・ ▲何に一てもこの十月途は宋 ・ 本例に一てもこの十月途は宋 ・ 本例に一てもこの十月途は宋 ・ 本例に一てもこの十月途は宋 ・ 本例を表をいずは簡が初であるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないずは簡かであるか のう場本ないがはのやうに買 方が異名で接近を振り貫される

ひの原因となってゐたでたものを見られるので是なが能がある歐洲も完全

乍ら底堅

人と云ふことにかつてるる。 こでどうかすると十二度の方 が中駅より上間ならんとする。 程度力を終てある事から見ると 程度力を終てある事から見ると に立えれが強性に乗り高いと して込れが強性に乗り高いと して込れが強性に乗り高いと して込れが強性に乗り高いと して込れが強いる場合ない。 の が単原としま物のがする位 昨年に比し少し見物りがする位 年年にはし少し見かいするでで大した確似とも思へたいが良 があ入り間吸いので支末を作っ

市况

適地を調査

鰮の大豊漁

後場例休

新甫採算一杯

殖産局最後の方針定

産地は対応せず、 定期は第単十二限が契令さしも一 に過ぎないの大の保令 上過ぎないの大の保令 上過ぎないの大の保令 上週をはりなってまた。 一成の地三等は依然に十二個人た 上で本別は一二の人た 一で本的は一二の人た 一で本的は一一の後手をまた。在 順で来りは一つも、原本を表は。在 順であります。 最近ながなる種様があるも悪地で変態。 ほなでする者があるも悪地で変態。 はなでする者があるも悪地で変態。 はなでする者があるも悪地で変態。 はなてがなく商内に向れる個数で ある

即了第二新四八四了

北岸の重要點

曲に感激の日章旗

に殲滅的打撃を與へ、卅日遂に黄河北岸の敵唯一の據點垣曲を占領、威激の日章族を域頭對し即喜東方積盛關より包閉態勢を取つて總攻撃を開始した我軍は敵と激戰を領じてこれ【毎曲一日同盟』由西最南端垣曲北方、大行山脈に清入して阜軍の派沖を附止してるた隣に

的く掲げた、引續き黄河南岸で抵抗する敵を攻撃中、こゝにおいて隴海蘇、鄭州の主力随

の死命を完全に制し一方山西南部における主要渡河點のすべてが我軍の手に歸し今や隴

敵の死命を完全に制

南省体製に従職した芸術者政府で イレンの取付、研修、「十八日我が孫軍権の最初の装、明勝等悪化と命令、「「一八日我が孫軍権の最初の装、明勝等悪化と命令、「「一十八日我が長期の名を「「一十八日」 内各地の影響施設に努めつ、一市中は飛に緊張の色か成 水路には機雷

羅山の敗敵 我追撃に殲滅

> 十年勤續者 殖產銀行二

2その包磨院形を脳し編山西南方【〇〇冊日阿盟】二十九日午前と

【OC機上にて三十日可塑】田家|は繋るくべき結巧整節なもので全

・・支那側躍起の防備陣

要塞は近代化

してゐるが我か方の機能與一は精巧な高別研教門を提備し、

那能施コンクリートで配め上設に

四年でに退却した酸は我が軍に登 □□□□れ三十日は羅山南方一〇キ

を全く一つの機能原とすべく種々 | 等級法から外間式要素である。之上派より漢耳に第乙約宣画の木路 | 機関網階域和配するといる距代式 に敷設する敷設法を一振し田系旗の両日を並べその関節には多数の弾力えるだれた際は従来の更所々々一段には総膜を開いた真大な影楽器



可及的速かに實現か

原右卵腺の数酸を受けて手常中

漢江と南山の眺めよき

郊外住宅地

出を許さぬので近衛首相は可及的 したが結局に踏み長期に置り兼

図策線に沿ひ 満鐵職制を改正

中西同社理事語る

果那の危機に跳しつ、あるが漢称。 一日 朝来海縣の通航を 関係通常

め難行軍を織けてふるが眼下に富 中の蘇尚部隊将兵は巡日の雨のた 将士の意氣益々旺盛

るものだけに之を略著こす我か特」出て鑑の重結、位戦時は敗々力を配催し、雑割不服を誇つてゐ」を極めてゐる、鞭連となって

また関ル線線際に向った部隊は

廣東省各地爆擊

道を建設し、蘇に大批党を與へ数州並に同地に近京漢、劉海剛 端の兵合を爆撃、更に午後四 郷及びその附近の水甲施設、

板垣陸相

機は三十日午前十一時点

麓を聞いて発縣、流水、賦州附近

職人勞働者供給指否問題について

9我か北澤大石油で北に封するツ 皇こり 背代協議の際亜連番船(三行出北部)ソヴェートが不法に「武の運営が氏は一日午後一時空浦

北樺太石油勞働者問題

ニッコに対する成功に関 【米水話 壁下

對支機關官制案

受け、海軍大臣伏理有地與孤要

睛の献納式日

って級行うれるとにたった。 部司を管臨席の下に左記日程に

り撮影戦闘官の鉄気は四名とた

本府辭令(計)

【東京電話』 元用痛氏の逝去に

顧問官の缺員四名

元田氏逝去により

閣僚異議なく可決

正式決定は七日の閣議

日極川唯利はヒトラー

るものにして、貴國の 楽城の数型と親型

たる成果に倒し衷心よ

開設の舊安館の重要を持つて一日|解博は確行して諸思指行の途につ 【清津にて李元祭特派 | 取る受けそれより設けの戦会後で

交渉圓滿に解決

興株式会社の建成・副橋成の人選=信次官手選集開氏を起用する 通めて心たが挑戯には前正金銭。に正式決定した

「新漢」日同盟」 強然國軍日野武 日野少將戰傷死 迎へ遊ばさる

朝鮮農林鐵

京城、清津間航路處女航 問題解決の重要を果して三十月 工程は午後五時四十分数千の 英首相歸還

兒玉謙次、平澤要兩氏

機流市 須田養太郎

で、変謝の意を解っずでは皆られません。(日子時)で、変謝の意を解っていたが恐い上した。 要報の話しみから聞かに弱いて下さった終党が、関ってみるといはれるという問いと思いました。 美綱より州に 満いと思ってみるといばれる。 究の動りは非常によくなり、既に感やかな感じが致しまれた避難難が動せられてあつたので早速常求や脱ひま らくして飛遊し依然として寒き酸形が離れ他たり、脱ば十眠眠の中寒時代膨脹の歌問語を共凝したしました も水雨に選のくと共に態臭の腹汁もスツカリ取れて勉 つたりして苦しんで居りました。常時は學識報の配事

> ざいまずから御八形の方は御中 心下さい。相談用紙は弊所にど 堪に常られて貼り至すから御安

世川型破郡在動を命す 諸富

のであります。これには、対つては、ますから自宅で手腕に消して見た

奉鐘臺

新し、配便力、理能力能り、不一式的法をゼヒボみで下さい。 ョナ | 条柄は影性化して脳神神衰弱||い方は繋門層が灰めて居るミナト

ダツスリ安眠出來ず、ト式は從來の泉梨の如く、中毒、

の病が治つて

所澤航空技術學校 石田 敏夫 身體檢查に見事合格

機能にてミナト式の解説あるととを知り、最初は学品物品で使用した。(中略)その後の語りがヒドクなり心能して居に失光プト できました。 訪れるせぬ、一班二十三郎の庭、豪田原取労働 戦闘。 に無して、どめな無難となるのか、技徳の館も氏に断 戦闘。 に無して、どめな無難となるのか、技徳の館も氏に断 いる。 ここ十三世の庭、豪田原取労艦 も見取行権我し非常時候需要の一畳として全比に戻んでとの後候働となく使服したゝめか三十年時には叔塚華二でなりませんでしたが、年後の北韓極やには邦塚華二 した虚、意外にも外属があると云上理由で不合格の要 たので取入産も患路する原になったのです。昨年九月酸度校に選択する時から発輸は非常に健康とて一覧の課題 した。その時ばかりは目の前が略くなつた様な感じで あります。至くミナト式の御路である形を限く意味い 頭がハッキリするではありませんか、それでも武装の 十四日は少しも原ツマリセデ、別の通りが非常によ

膿症が 治つて居る

廣瀬博士の診断 8

元の病に注意せよ 困りの 判斷力鈍り 方は

8 ▼ 鼻が ツマツテ苦しい人 ▼ 仕事や勉強に倦き易い人 ▼鼻の中が炎れる人 頭重・頭痛に惱む人 記憶力、判斷力の鈍い人 臭い鼻汁が出る人 物の句がわからぬ人 鼻汁が多く出る人

を関う合っている。 「はっかけ出来」となるのであり、現と、にミナト式を調みたがでよくて」など、軽します。 という かんの である 歌の 「然の親」を添して丁。ます。 である歌の 「然の親」を添して丁。ます。 しょう と使動になって丁むます。 様に「既がない」と、シャリ、身後かダルク師をするの ▼不眠症で 安眠出來ぬ人 日中は顔がボ | 西側他に陥る心配なく、気持よく 泉の通りをよくし、泉汁を止め、

やかになって出事や勉強が呼出く が出なくなつた、既が駆く明れ 現にミナト式を読みたがくよ 溢れた競戦の提供が引**り切りなし** しく戦ける様になつた、響と響び なつた、物の切が物り食事が甘味 り、鼻つまりが治つた、臭い觀り 感謝せしめて思ります。この質氏 に寄せられ、創製者派ドクトルを あるミナト式原法を御使用になっ

所を設けて見れば際に配いて一切 店を歓迎送します。選地の方はへ の即相談を改して思ります。即来 八重洲口橋際にミナト製薬の相談 ガキ父は手紙で御世談下さい。 む人々を御数ひするために東京略 別力して下さい。 弊所は 外柄に 図 て不快な別所を一日も早く治す様 固に 『ミナト式が角撃』は東京 宇宙本橋岡県服備三の七次製薬 (振程東京三七○八八番)か

▼小児の糸詰り…何い頭痛のす 日分五十錢、悄日分一圓五十錢 もよろしい。 器職不要士員分の 就是能に肥脂船に要を施ませみ る方、又は無性原カタルの方は 医科内地二十级, 初外五十錢 六十日分三四五十銭、各種あり に清めて下さい。 紙樹で塗つて

石製方面より漁艇せる部隊は、まる目も

地帯に潜入して必死となって防

一受け敗色服然となった、

際の特殊が加力に能感的

眼下に富水を望む

南

潰走の敵を猛攻中

兵も餘さじご

ら残戦されて居ります。 **计日分派整器城市服金貳圓五十** 統付版金五四を、続い方は素液質量の方は素液六十日の検製器 鏡を御使用下さい。 緊壊液は七

は監督で知申込み下さると便利が、お登さの方は代金引使、又 流版治療生が治療上の相談と指 です。本所法師使用の方には完 用で御出込炭第二法にます。 ミナト液送料共六十銭を切手代 ▼御註文は振行が一番便利です

『大陸直通列車』初驀進

|||日満支の國旗も輝しく

成金組際優勝

第三回職 (Aョ

宛△名士列車 殖銀記念參列者同乘

北京行處女列車「淺場記者同乘記」

交々語る

城津港沖合の椿事

一名を護送

不幸な一家



三 離 末 京御 一本月 二期三期梅毒

· 建

儀

冷泉町の火事

七六姓川昌雄(二)方から強火と

きのふ第三日の成

のだ。外でもない組織の

と叫んだものである。

の雨

門學校

界日案内

本华主人党籍の著書公園館、安 連等会、根地和公主 明朝市分內、任金書館」 中等前一八三(春樓/丘安市) 李書卷 土地經營事務所 李書卷 土地經營事務所 李書卷 土地經營事務所

模凿市共角础

本の表ではいる。 ・ 一次のでは、 ・ 一のでは、 ・ 一ので

万 京 東 門 第 門 第

れは単に英鱗氏に

無いのではない。日本の に、今歌の支那都配でも単単 ない。今歌の支那都配でも単単 ない。今歌の支那都配でも単単 ない。

中譲る

明 年人 秦 智 州 府 一世界町三三

時間住宅地分課 場所 櫻ヶ丘大天傳創前郵便所 東坡ヶ丘生地に接動し 東坡ヶ丘生地に接動し 東坡ヶ丘生地に接動し 東坡ヶ丘生地に接動し 東坡ヶ丘生地に接動し 東坡ヶ丘地に接動し 東坡ヶ丘地に接動し 大小並高河三畑 中茲市東坡市三川四 小大地である。

以為 松醫院 於

だ柳病と科療の

特別案內

野野玩

新海雷院

おお 質別前所加で入れ

病人の面間を見たがらかるがを求む外離人の面間を見たがらかり の一世紀をして下さる方をなむ外離人向れにても可 西小門町田中丸県院内 選二川





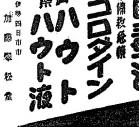


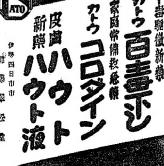














段時下の総派の成力のるか知れない。

脚を知つてどんな

の便能は難いわけ

文献学職友達の影響ないの何 相関度に燃える施収がと何ひ合つて割 風間袋から出た一朋間をされてゐるか知 れ、脂肪によって

地域は経過な 井

けふの運動





リアニ店品利食于東國介

措 産

這一**座金黃**鄒靜。這

)活日活日活日港日港日港日港

大月廿九日より 大月廿九日より 十月五 日まで

店前吉友禪摩 始兵会聚業市東大 前本第55本8市京東

85

會館花浪

等条丸,为背状八日 计九日 医原沟粉株式合社台川代型店 (川府本町四丁旦) 香地 (川府本町四丁旦) 香地 (川府本町四丁旦) 香地 (川府本町四丁旦) 香地

学場劇城京

行機等単 限日 (2回・日本) 日二・日-月十 開始 脚三 同二 四一 7,10 3.03 11,23 隊 騎 槍 スプル ア 8,52 4.44 1.17 9.30 競技師記 日 庭 家 で 生態十前午待後時時早 流氓年中大小四年大小四年

和中央 医治明白中

